

明德寺ミニ便り

平成25年2月

(復刊1号、通刊90号)

明德寺檀徒の皆様

厳しい寒さが続きますが、皆様お元氣にお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、このたび明德寺から檀徒の皆様には、年に数回程度、お便りを送らせていただくことに致しました。そのまま新聞に挟んで、読まれないまま資源ゴミになってしまいかも知れませんが、何人かの方でも読んでいただければありがたいと思います。

人生を長くやっておられる方の中には、ご記憶の方も多いかと思いますが、塚原弘真 前住職が30年程前まで、10年間ほどの間、「明德寺ミニ便り」を発行して檀徒の皆様へ郵送しておりました。左下の青で囲んだコピーは、その第1号で、昭和52年(1977)2月1日に発行されています。1号にも「家じゅうで、楽しんで読んでいただけるようなものになれば」記されていますが、同じ気持ちで復刊させていただきました。

実は、ミニ便りの原本は、明德寺には揃っていませんでしたが(明德寺の整理が悪く、赤面の至りです)、松本在住の青木貞一様(故人)が整理をして保管されておられ、ご子息の青木忠雄様のはからいで欠番のないようにコピーをとらせていただきました。最終号は昭和59年11月1日発行(89号)となっています。もし、それ以降に発行された「たより」がありましたらぜひ明德寺にご一報をいただけたらありがたいと思います。報奨金は用意できませんが、明德寺の寺宝とし、末永く保管したいと思っております。

という事情で、この「たより」は復刊1号(通刊90号)ということになりました。

明德寺の行事ご報告

一 成田山、深川不動尊参拝・スカイ

ツリー見学・木更津温泉一泊の団体参拝

昨年11月19〜20日に実施した明德寺団体参拝には、私ども夫婦を含めて41名の方にご参加いただきました。参拝先でのお護摩では、太鼓の揃った

連弾には驚かされ、また心が晴れました。その気持ちに心が残り、気分を新たに生きていこうと感じたのは、私どもだけではなかったと思います。たくさんの方のご同行をいただいたこと、あらためて御礼申し上げます。

二 信濃三十三観音札所めぐり

第一回参拝(麻績・筑北の6ヶ寺)

羽尾四区雄沢会、明德寺御詠歌講、史談会(羽尾)の皆様のご協力を得て、昨年12月4日の第一回目の参拝には26名の方にご参加いただき、先達の長谷寺御住職、ガイド役のハト觀光社長浅野さんを含めると、中型バスは満員になる盛況でした。

早朝7時に明德寺に集合し、9時まで巡礼の仕方や観音様についての勉強をして出発しました。険しい山道もありましたが全員無事にお参りをしました。御詠歌講の皆様には、観音様それぞれの御詠歌をお唱えしていただきありがとうございました。



明德寺の予定行事

一 明德寺客殿で琵琶の演奏会

3月23日(土)午後4時から。演奏者は、名古屋在住で琵琶の世界的奏者であり語り手である北川鶴昇氏。演目は、(一)川中島の戦、(二)平家物語より「俊寛」、「壇ノ浦」です。明德寺と更級人(さらんど)風月の会との共催です。演奏会のみ参加費は

1000円。懇親会まで参加する方は1800円です。明德寺にお問い合わせ下さい。参加者募集用のチラシを同封いたしました。

年に1〜2回、明德寺の客殿を会場に、様々な楽器の演奏会を更級人(さらんど)風月の会主催で開催しています。近隣から120人くらいの方が集まって下さいます。今回は明德寺も共催することにいたしました。

二 明德寺お花祭り

4月14日(第二日曜日)。

例年のように、お花祭りを予定しています。行事内容は、①稚児行列(出発14時)、②法要(御詠歌・読経)、③奉納会(寸劇、紙芝居、朗読など)、④法宴(懇親会)。

ボランティアの方々による智恵団子・綿あめ・甘茶や演芸の出し物があります。どなたでも参加できます。お待ちしております。

三 信濃三十三観音札所めぐり

第二回参拝(千曲市・長野市南部の7ヶ寺)

4月22日(月)です。募集の詳細は前回参加の皆様には後日ご連絡させていただきます。一回ごとに参加者を募集しますので、前回に参加いただけなかった方々のご参加もお待ちしております。明德寺にお問い合わせ下さい。檀家さんに限らず参加していただけますので、近くの人に声を掛けていただくと、大勢の方々と一緒に、楽しく礼所巡りができたらと思っています。

次回からのミニ便りは、ハガキの予定です。

又どこかの広告かと口々に読まないと、棚の上からなんかにのせられて後で敵くすと、嬉しく燃えてしまいいやしいかと心配しながらの第一号を書いています。皆さんのあはれに立ってあげて、こんな便りを考えました。その上、家印みんなで楽しんで読める様なものにすればと、おぼつかってありますが、こんな便りが出来たらいいや、三三度の焼酎みたくに三ッウでつぶしてしまいいやしいのと心配ですが、皆さんの御カシを以て、細きでいいから続けられるようにしたいものです。このオ(男)は全部の方に昔まじりを出しましたが、次からは世話の方に配って貰う予定です(お世話)

人々御苦労ですがお察しします) 貴席は実はお栗師さんのあせり銭が、ありましたので、それをアチチ、不足になったら本尊不動さんにお願いすることにしようかと、皆さんからの御意見、激励等、お聞きしてまいります。お便りを御期待下さい。 合、掌

二月中予定
六日(日) 二十六日(土) 更級小早川同族
五均成者(野)霊楽(由)明德寺
八日(奉)師如(来)月(例)法(安)